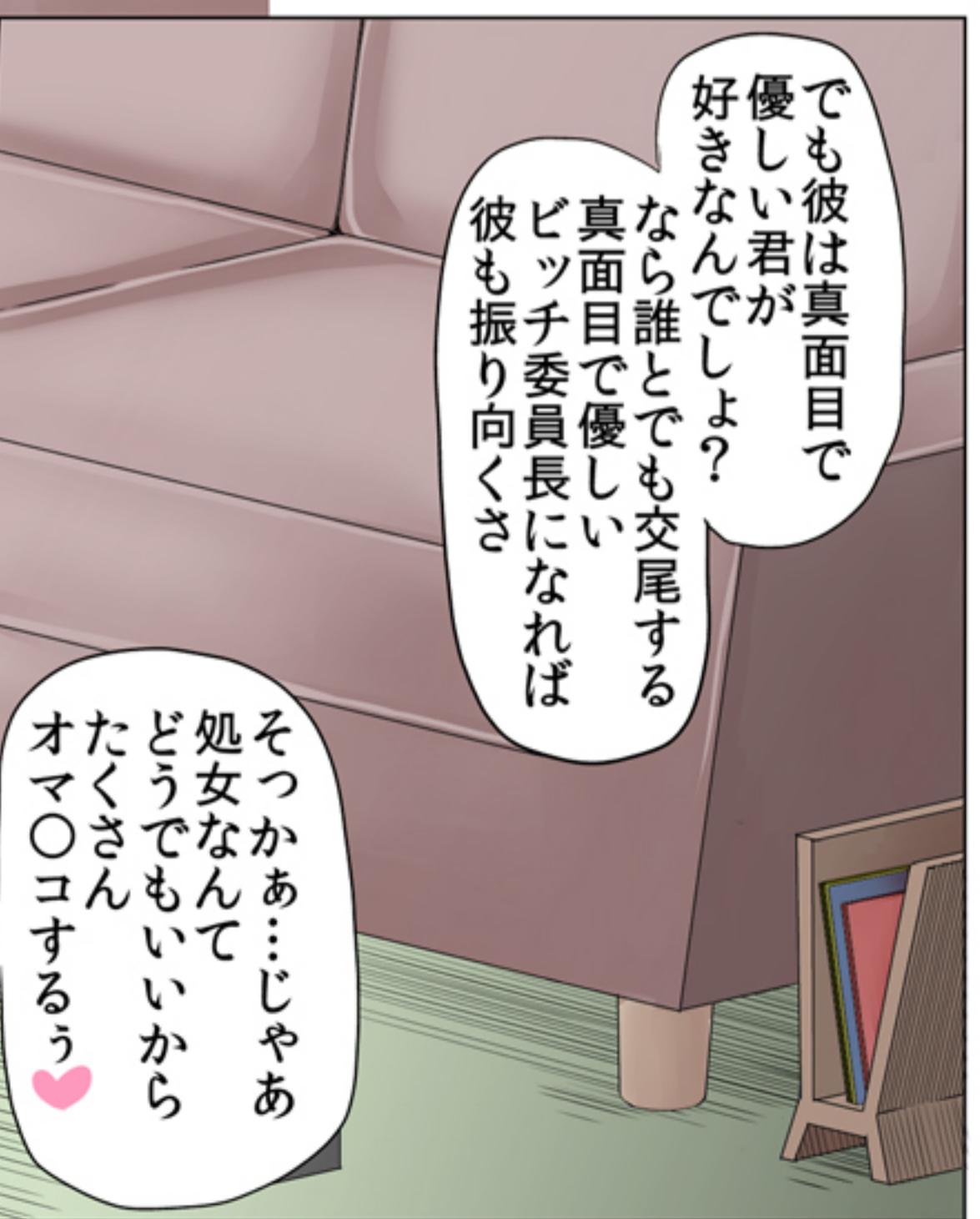
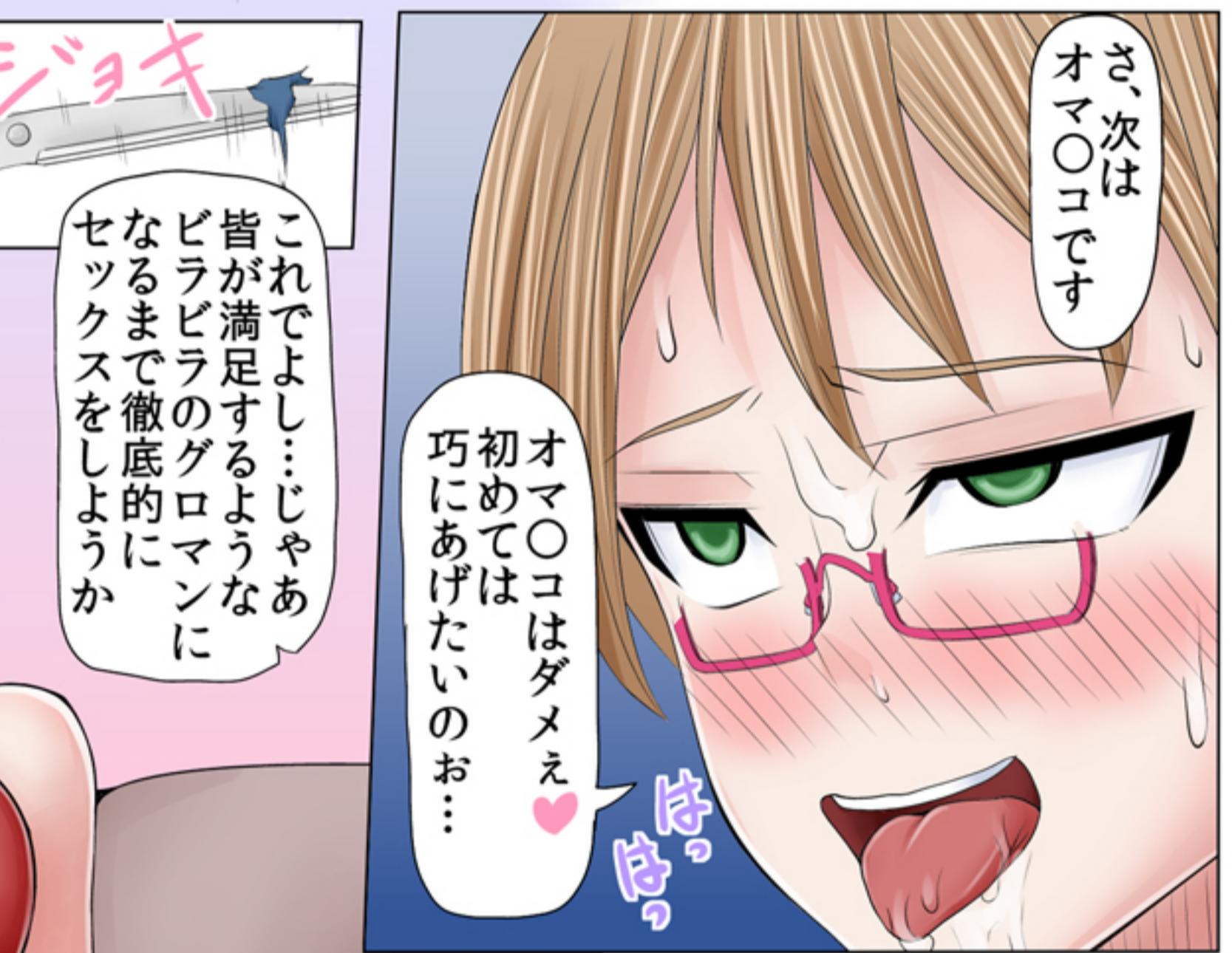
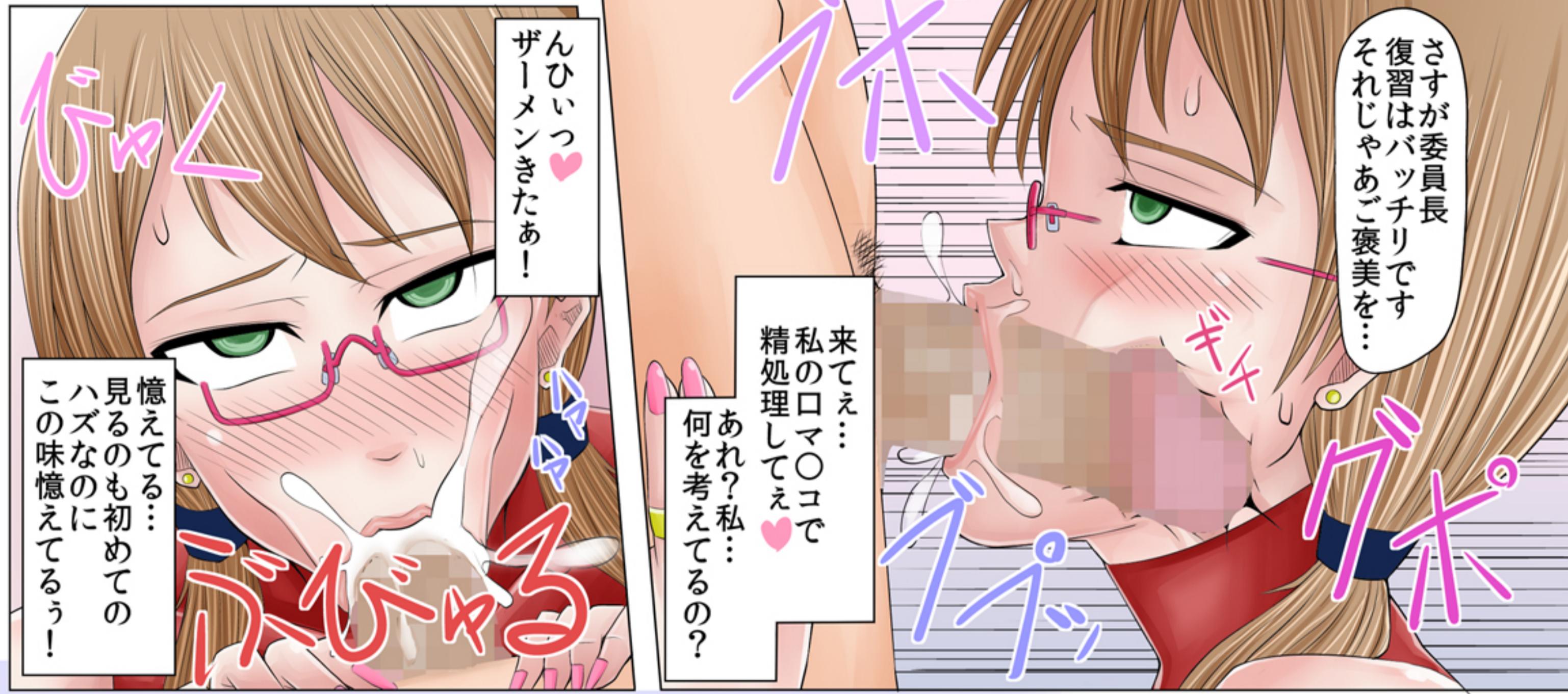
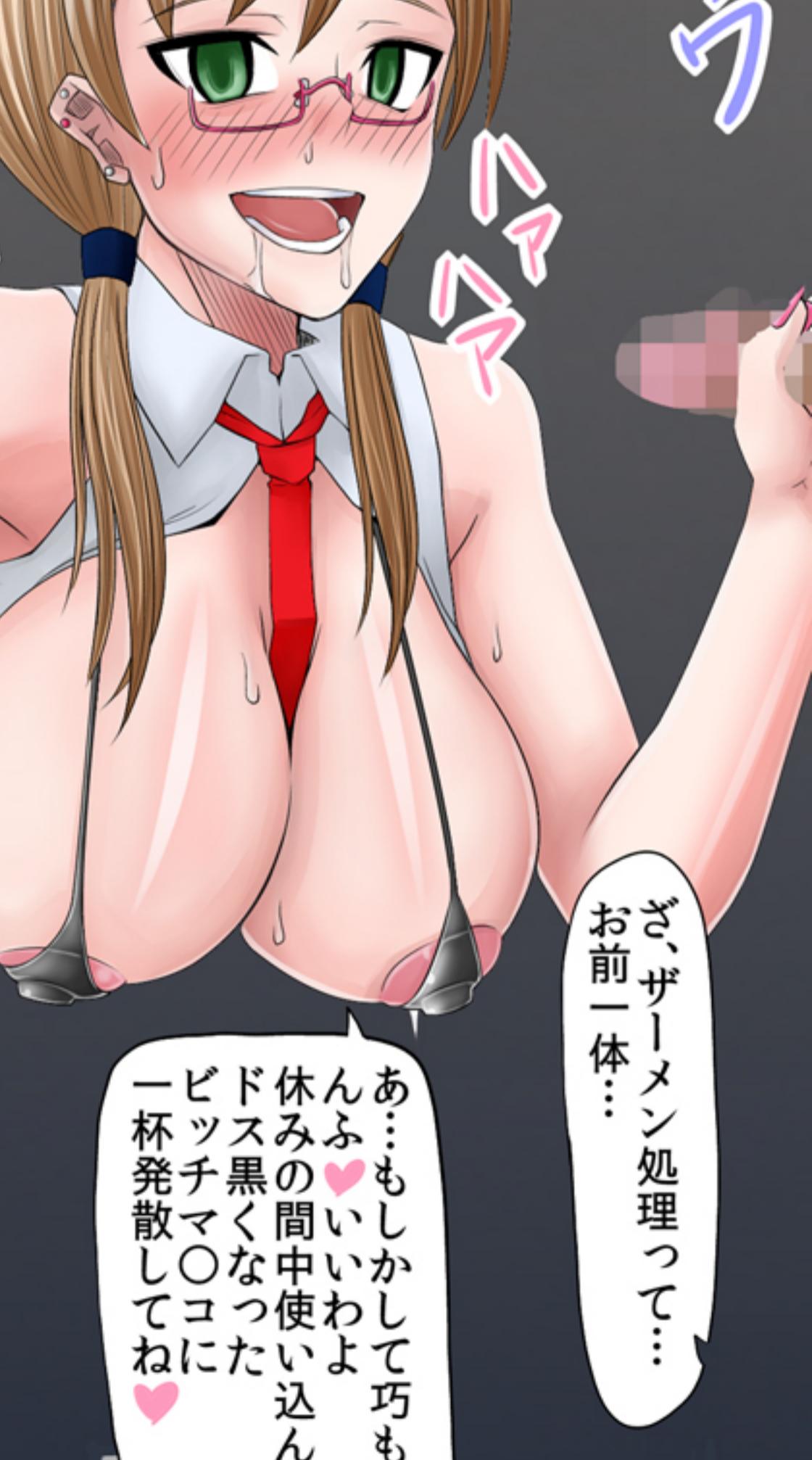


ひつ…!

む、無理です









数ヶ月後：
引き籠つた俺の元に
紗希から一枚の
DVDが届いた
その中には：





そんな変わり果てた姿が
俺には以前より魅力的に
見えていた

きてえ
ザーメンジヤンキーに
なるくらい濃いの
ボテ腹ぶちまけてえ

あん

射精がつくと俺は
気れててもいいのに
触精していた：

薄報告次は出産か
ぼんやり考えて
そんな事を
行く意識の中

んひい…交尾しか
能の無いお堅い
委員長のユルマンで
ボテ黒ギヤルマ

あ、あ

おわり

薄報告次は出産か
ぼんやり考えて
そんな事を
行く意識の中

あん…まだするのお？
いいよ、私もまだ
ハメ足りなかつたから

出産：その言葉に
勃起した俺は
画面中の紗希の
獣の様な嬌声をネタに
何度もセンズリを
意続け何時しか
意識が遠のいていた

ええ：巧い
私のAVどうだつた？
コレでいいつぱい
センズリこいてね
次は出産の様子を
撮るからあ
その時また送るねえ